

## 第 21 回 日本山羊研究会 開催案内

日本山羊研究会（全国山羊ネットワーク研究部会）  
会長 新出 昭吾

拝 啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、全国山羊ネットワーク研究部会の主催により日本畜産学会第 127 回大会開催に合わせ、下記の要領で第 21 回日本山羊研究会を開催いたします。多数の方のご参加をお待ちしております。

記

日 時：2020 年 3 月 25 日(水) 13:00～17:00  
場 所：京都大学農学研究科 農学部総合館  
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町（吉田キャンパス北部構内）  
内 容：①研究発表・事例報告 8 題を予定(1 題 15 分：発表 10 分，討論 5 分)  
②学術講演 ③その他  
※研究会終了後、懇親会(17:30～19:30)を予定しています。  
(詳細は研究会当日にご案内いたします)

参加費：全国山羊ネットワーク会員は無料、非会員は 500 円（当日徴収）

敬 具

### (発表申込)

発表申込みは、発表者が全国山羊ネットワーク会員の場合のみ受け付けます(ただし、共同研究者の中に会員である指導教員が含まれていれば、非会員学生の発表も可)。

研究発表・事例報告を希望される方は、①申込者氏名、②連絡先、③発表題名、④発表者全員の氏名(講演者には○印)、⑤所属を日本山羊研究会事務局までご連絡ください。申込みは、**日本畜産学会報にプログラムとして掲載希望される場合は 2020 年 1 月 10 日(金)まで**にお願いいたします。**最終締切は 1 月 31 日(金)**とします。

**講演要旨は 1 月 31 日(金)までに事務局へお送りください。**提出された要旨は日本山羊研究会誌投稿規定(別紙)に則り査読され、2 月 17 日(月)までに審査結果をお知らせします。その際に編集委員会より修正を求められる場合がありますのでご注意ください。採択された発表要旨は今年度より新規発行される日本山羊研究会誌に報告論文として掲載されます。**要旨集の研究会誌への移行と査読の実施に伴い、例年より要旨が 1 ヶ月以上前倒しになっておりますので、ご注意ください。**

発表は液晶プロジェクターを用いた Power Point (Windows 形式)または配布資料によるものとさせていただきます。発表に Power Point を使用される方は、大会当日に USB メモリーに保存した発表ファイルをご持参ください。

### (講演要旨の作成要領)

講演要旨には、①発表題名、②発表者全員の氏名(講演者には○印)、③所属機関(所在地)、④キーワード(5 ワード以内)を必ず記載してください。本文は原則として①研究目的、②方法、③結果等に分け、A4 用紙 2 枚程度、2,000 字以内で記述してください(2000 字を超えますと日本畜産学会機関誌において二重投稿と見なされる場合がありますのでご注意願います)。文中に図表を使用しても結構です。文章は Microsoft Word もしくはテキストファイ

ル形式で保存し、**2020年1月31日(金)までに事務局宛に e-mail もしくは郵送(CD-R など)でお送りください。**

**(日本山羊研究会誌の申込・懇親会への参加申込)**

昨年度まで研究会当日に発表要旨集を配布しておりましたが、今年度より要旨集が日本山羊研究会誌に移行するにあたり、電子媒体(PDF)による配布も開始することとなりました。ついては、冊子体の配布を希望される方は、2020年2月17日(月)までに申込みをお願いいたします。懇親会への参加申込は2020年3月18日(水)を締め切りといたします。申込はいずれも事務局宛をお願いいたします。

**(日本山羊研究会事務局)**

〒989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字蓬田 232-3  
東北大学大学院農学研究科陸圏生態学分野内  
日本山羊研究会事務局 柿原 秀俊  
Tel & Fax : 0229-84-7382, E-mail : kakihara@tohoku.ac.jp

## 日本山羊研究会誌投稿規定

- (1) 本誌は、会員（全国山羊ネットワーク会員であることが前提）であれば日本および世界の山羊の生態、飼養技術、資源活用、経済、社会、文化等に関する論文、報告論文、調査研究、現地報告、総説、解説および書評などを掲載できる。なお、研究会での発表を希望する会員は、報告論文を予め提出することとする。
- (2) 論文および報告論文、調査研究については編集委員会により審査を行う。その他の原稿の取り扱いについては、編集委員会に一任とする。
- (3) 原稿の言語は、日本語と英語とする。論文および報告論文の和文原稿には、表題、著者名および所属機関名（所在地）を、次いで英文原稿の場合には、英文の表題、著者名、所属機関名（所在地）をつける。また論文には和文要約をつける。論文および報告論文には、それぞれ和文、英文のキーワード（5ワード以内）を書く。その他については、この限りではない。
- (4) 原稿用紙はすべて A4 版とし、上下と左右に 3cm 程度の余白を空け、和文の場合は横書きで 2 段組 22 字×36 行、英文の場合は 65 字×25 行を標準とする。
- (5) 原稿の長さは、原則として論文では刷上り 8 頁以内、報告論文は 2 頁以内、その他では 5 頁以内とする。
- (6) 和文原稿はひらがな、新かな遣い、常用漢字を用いる。なお、エッセイなどは、この限りではない。
- (7) 本文の見出しは、章：I. . . .、節：1. . . .、項：(1) . . .、小項：1) . . . の順とする。なお、章が変わるときは 2 行、節、項が変わるときは 1 行空けて見出しを書く。
- (8) 本文を改行するときは、和文の場合 1 字空け、英文の場合は 3 字空けて書く。
- (9) 字体の指定は、イタリックは下線 (ABC)、ゴシックは波線 (ABC)、スモールキャピタルは二重下線 (ABC)、上付き（肩付き）は∨、下付きは∧とする。
- (10) 句読点などは、「、。・；：「」（）－」を用い、行末にはみ出す句読点および括弧は行末に書く。
- (11) 年号は、元号の後に可能な限り西暦を付記する。例：明治 43（1910）年
- (12) 図および写真は、そのまま写真製版できるように別葉で作成し、説明は別紙にまとめて書く。
- (13) 引用文献は、本文中での引用順に片括弧付きの番号を付して記載する。
- (14) 引用文献リストは、本文の後に番号順にまとめて記載する。
- (15) 初校は、著者が行うことを原則とする。
- (16) 審査が終了した時点で、最終原稿は下記の原稿と同様な方法で送付する。
- (17) 掲載料は原則として無料とする。ただし、報文の別刷代は著者負担とする。希望部数は初校の 1 頁目の上欄外に朱書とする。
- (18) 原稿は、「〒989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字蓬田 232-3 東北大学大学院農学研究科陸圏生態学分野内 日本山羊研究会編集委員会」（e-mail : kakihara@tohoku.ac.jp）に電子媒体あるいはファイル添付で送付するが、事務局が移転した場合には送付先は自動的に変更される。



